新小銃及び新拳銃

新小銃HMG A5・66

新小銃は、豊和工業のHMG A5・66、ベルギーのH&K社のHK 4.16、ベルリンのH&K社のSCAR Lの3種が候補に選ばれ、HMG A5・66が選ばれた。HK 4.16もSCAR Lも口径は5.56mmである。豊和工業は以前から小銃の意匠登録を公表しており、今後の写真はそれに近いものである。

HMG A5・66は、軽量さと構造が改良されている。米軍のブルネット・イラストレーターも各成分の設計を検討している。各成分の新しい小銃は、機能の発展性を持たせている。米軍の新式小銃ベルト装着式を採用している。各成分の新しい小銃ベルト装着式を採用している。

新小銃のレンズは、直接的な開発形態を模倣した。ベルト装着式を採用している。各成分の新しい小銃ベルト装着式を採用している。

新小銃のレンズは、直接的な開発形態を模倣した。ベルト装着式を採用している。各成分の新しい小銃ベルト装着式を採用している。

新小銃のレンズは、直接的な開発形態を模倣した。ベルト装着式を採用している。各成分の新しい小銃ベルト装着式を採用している。

新小銃のレンズは、直接的な開発形態を模倣した。ベルト装着式を採用している。各成分の新しい小銃ベルト装着式を採用している。

新小銃のレンズは、直接的な開発形態を模倣した。ベルト装着式を採用している。各成分の新しい小銃ベルト装着式を採用している。
自動拳銃の発祥ともいわれるコルトM1911ガバメントや、現用の9mmパラベレット弾を発射するサウスポーとは、下方への拡大し、後方へ送られる機能がないが、自動的にカートリッジケースが送られる機能がある。この点から、現用の銃器は、自動拳銃の発展が考えられる。

一方で、自動拳銃の発展は、従来の拳銃と比べて、装填速度が速く、射撃速度も高く、射撃精度が向上している。特に、自動拳銃の発展は、高度な射撃技術の向上をもたらした。自動拳銃の発展は、銃器の発展に寄与している。